

佐野日本大学短期大学 省エネ会議の取り組みについて

人口増加と発展途上国の経済成長などにより、世界のエネルギー消費量は今後ますます増加すると見込まれています。一方、石油、石炭などのエネルギー資源には限りがあり、世界規模でエネルギーの需給関係が逼迫すると予想されています。現状のままエネルギーを使い続けた場合、二酸化炭素（CO₂）排出による地球温暖化などの気候変動やエネルギーの枯渇、価格の高騰を招くおそれがあると言われてしています。

また、2022年2月にロシアがウクライナに侵攻し、世界のエネルギー情勢は混迷を深め、エネルギー価格の高騰は深刻な社会問題となっています。そこで、エネルギーをできるだけ節約するためには、省エネ活動の工夫や効率の良いエネルギーの使い方が必要となります。

本学では、平成27年に効率の良い空調設備の導入及びLED照明の導入をするとともにEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入することで空調や照明の制御とエネルギーの「見える化」を実施して一定のエネルギー効率化を果たしました。しかしながら、その後の更なる省エネ効果が得られていない状況となっています。このため、エネルギー管理体制を再度整えるとともに、全学を挙げて省エネに取り組むために教職員はもとより学生も参加した省エネ会議を下記のとおり設置し、省エネに取り組んでいます。

記

名 称 佐野日本大学短期大学省エネ会議

会議の役割

- エネルギー管理体制の整備
- 省エネ取組方針の作成
- エネルギー使用の合理化や需要の平準化に関する措置の検討

会議メンバーの構成

学科長、学務担当、学生支援担当、事務局長、次長、事務長、総務課長、学務課長、
校友会（学生）若干名、総務課職員、エネルギーマネジメント事業者、
その他必要な教職員

会議メンバーの役割

- エネルギーマネジメントの重要性を学内に広く広報するとともに啓発活動をする。
- 法令の情報を共有し、必要に応じて情報を広報する。
- 学内の省エネの障害となっている問題を把握し、是正に向けた提言を行う。
- 本学独自の省エネのアイデアを創造し実践する。
※栄養フィールドにおける省エネ料理の開発など
- エネルギーの有識者や先進企業を招いて勉強会を企画して互いに学びあう。

会議発足日 2020年4月1日

以 上